

# 中学校国語科教育 実技研修会 終了報告

テーマ	『書くこと』領域に係る実技演習	
日時	平成30年2月6日(金)	
会場	恵庭市立恵明中学校図書室	
講師	桂川 淳 氏(江別市立大麻中学校 教諭) 澁谷 明範 氏(千歳市立千歳中学校 教諭)	
参加者	14名	
研修会 の 様子		<p>今回の実技研修会のテーマは『書くこと領域』に係る実技演習。生徒の「書く力」を伸ばすため、どのような実践が有効であるか、石狩管内の先生に実践の提言を頂きながら、私たちもその取組を実践するというものでした。</p>
		<p>初めに、大麻中学校桂川淳教諭の実践提言。桂川教諭は2週間に1度、短作文の課題を3年間生徒に与え続けました。その結果、生徒の書く力は飛躍的に伸びました。しかし参加者にとって負担に感じるのは「添削」です。そこで生徒の添削を実践し、桂川教諭のものと比較することで、負担にならない添削方法を学びました。</p>
		<p>次に千歳中学校澁谷明範教諭の実践提言。澁谷教諭からは「聞き書き」という実践を学びました。生徒がインタビューをし、聞いたことをまとめていくという取組です。参加者も実際に取り組みました。</p>
		<p>参加された方は、「書く力」を伸ばすためには書かせること、どれだけ短くても良いの添削すること、そして継続させることの大切さを学ぶことができました。桂川先生、澁谷先生、お忙しい中たくさんの資料をご準備いただき、本当にありがとうございました。</p>